

いりま

今回の紹介地区 No.072 山形県 西川町 入間地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積 43ha、うち耕作放棄地 3ha
 放棄の理由：高齢化による労働力不足等
 荒廃の程度：部分的に荒廃が進み、人力、農業用機械のみならず、重機による作業が必要な耕作放棄地が存在

取組概要

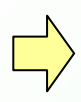
対象面積：1.09ha(田)
 実施期間：平成21年11月2日～12月12日
 取組のきっかけ：地域協議会が、集落営農座談会等で本制度の説明を実施するとともに、町の広報にて制度の紹介を行ったところ、認定農業者の一人から、本対策による支援を受けたいとの申し出があり、取組が具体化
 調整経緯：利用者が土地所有者と直接調整を行い、実施に至る
 取組主体：認定農業者(予定作物：そば等)
 作業内容：刈払、抜根、整地、土壌改良等

今後の予定

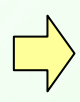
平成22年7月下旬までに土壌改良(肥料投入)を実施し、その後にそば等を作付け予定



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先：西川町耕作放棄地対策協議会 0237 - 74 - 2113(直通)(西川町農業委員会)

今回の紹介地区 No.073 栃木県 茂木町 ^{もてぎまち} 茂木町地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積2,160ha、うち耕作放棄地330ha
 放棄の理由：耕作者の高齢化、後継者不足、農産物価格の低迷など
 荒廃の程度：雑草や樹木の繁茂などが見られるため人力、農業機械、重機による作業が必要

取組概要

対象面積：4.9ha(畑)
 実施期間：平成21年11月10日～平成22年3月19日
 取組のきっかけ：農事組合法人が荒廃農地を再生して、生産拡大を図ろうとしていたところ、地域協議会の説明会で本対策を知り、取組が具体化
 調整経緯：農事組合法人が直接土地所有者と調整を行い実施に至る
 取組主体：農事組合法人 ドリームファーム青梅(作物：そば、小麦、エゴマ等)
 作業内容：刈払、抜根、整地作業等

今後の予定

平成22年6月に土壌改良(肥料投入)を行い、そば、小麦、エゴマ等の作付を実施予定



再生作業前

再生作業実施中

再生作業後

問い合わせ先：茂木町担い手育成総合支援協議会 0285-63-5634(直通) (茂木町農林課)

今回の紹介地区 No.074 はるな 群馬県 高崎市 榛名地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要 : 農地面積 1,953ha、うち耕作放棄地 135.7ha
 放棄の理由 : 高齢化による労働力不足等
 荒廃の程度 : 雑草や雑木等の繁茂により、人力・農業用機械・重機等による作業が必要

取組概要

対象面積 : 0.8ha(畑)
 実施期間 : 平成22年1月～平成22年3月
 取組のきっかけ : 地域協議会が市内の認定農業者及び集落営農組織等12,000軒に対し事業説明書及び申請書を郵送し本制度の周知を図ったところ、規模拡大の意向のあった認定農業者から、本対策による支援を受けたいとの申し出があり、取組が具体化
 調整経緯 : 利用者が土地所有者と直接調整を行い実施に至る
 取組主体 : 認定農業者(作物:梅)
 作業内容 : 刈払・抜根・処分、整地、営農定着

今後の予定

平成22年度は、更に1.06haで再生作業・土壌改良・営農定着を実施する予定



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先: 高崎市担い手支援協議会 027-321-1317(直通)(高崎市農政政策課)

おごせまち おおや
今回の紹介地区 No.075 埼玉県 越生町 大谷地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積 約8ha、うち耕作放棄地 約6.6ha
 放棄の理由：地形的要因(湿田)、高齢化、労働力不足
 荒廃の程度：雑草の繁茂に加え、一部樹木の侵入も見られる。

取組概要

対象面積：6.63ha(田)
 実施期間：平成21年12月15日～平成22年3月26日
 取組のきっかけ：近隣酪農家が荒廃農地を解消して自給飼料作物の生産拡大を図ろうとしていたところ、地域協議会の説明会で本対策を知り、取組が具体化
 調整経緯：地域協議会が土地所有者と利用者との調整を行い実施に至る
 取組主体：県農林公社、近隣酪農家（予定作物：デントコーン）
 作業内容：刈払、抜根、整地等

今後の予定

土壤改良を実施後に飼料用作物(デントコーン)を作付け予定



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先：埼玉県耕作放棄地対策協議会 048-829-3481(直通)(埼玉県農業会議)

とよおか

今回の紹介地区 No.076 静岡県 浜松市 豊岡地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積 180.7ha、うち耕作放棄地 23.0ha
 放棄の理由：高齢化による労働力不足等
 荒廃の程度：雑草や樹木が繁茂し、人力、農業機械、重機による作業が必要

取組概要

対象面積：1.0ha(畑)
 実施期間：平成22年2月1日～3月25日
 取組のきっかけ：平成15年に新規就農した農業生産法人(有)グリーンフィールド浜松が規模拡大を模索していたところ、地域協議会から本事業について説明を受け、取組が具体化
 調整経緯：農業生産法人が土地所有者と直接調整を行い実施に至る
 取組主体：(有)グリーンフィールド浜松(予定作物：ブロッコリー)
 作業内容：刈払、立木除去、抜根、整地、土壌改良

今後の予定

平成22年6月以降、土壌改良(堆肥投入)を実施し、ブロッコリーを作付けする予定。経営規模拡大のため、今後も耕作放棄地の再生利用に取り組む考え。



再生作業前

再生作業実施中

再生作業後

問い合わせ先：浜松地域耕作放棄地対策協議会 053-457-2335(直通)(浜松市農業振興課)

今回の紹介地区 No.077 かまがたに 愛知県 知多市 鎌が谷地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積20ha、うち耕作放棄地3.9ha
 放棄の理由：高齢化による労働力不足等
 荒廃の程度：雑草が繁茂し、天地返しなど人力、農業用機械による再生作業が必要

取組概要

対象面積：0.53ha(畑)
 実施期間：平成22年3月1日～3月30日
 取組のきっかけ：他地域で営農を拡大し、更なる規模拡大のため本地域への参入を進めていた農業生産法人が、地域協議会より本対策を紹介を受け、取組が具体化
 調整経緯：市の営農支援アドバイザー等が土地所有者と利用者との調整を行い実施に至る
 取組主体：農業生産法人(作物：黄タマネギ)
 作業内容：雑草の刈払、除根、耕起、整地等

今後の予定

当該農地には6月中旬にソルゴを蒔き、8月頃堆肥を入れる。11月には加工用タマネギの作付けをする予定。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先：知多市耕作放棄地対策協議会 0562-33-3151(知多市農業振興課)